



図書館へ行こう!

あなたはどのくらい使いこなせるかな?

KOSMOS



著作権を知ろう —第2回—

図書館へ行こう！

春です。初めて東洋大学図書館・分館へ足を運ぶ方も、
学年が変わって今年こそは図書館を利用しようと考えている方も、
とにかく図書館へ行って見ましょう。
そこで何が分かるか？ そこで何をを見つけるか？ あなたのアイデアに期待します。

大学図書館 私の使い方

能登 好美

大学生にとって大学の図書館は、勉強や研究のために利用するところであると思う。大学という所自体がそういう場所であるから、大学附属図書館が研究を進めるために利用すべき場所であることは間違いないであろう。また実際、公共図書館ではあまり見られないような資料や研究書というものが多く揃っているから、どこにいるより大学図書館にいたほうが、大学生が勉強するには便利なのである。と、とりあえずこういった理屈を考えている私も、うちの図書館を充分活用しているとはあまり言えないのであるが。今回は、私の豊富でない図書館利用の中から、大学図書館を利用して便利だな、良かったなと思ったことを、いくつか紹介してみようと思う。

先ほど、大学図書館には研究に必要な資料や研究書が多く揃っていると言った。しかし実際に利用して、蔵書をよく見てみると、自分の研究にはどうしても必要だと思われる本が入っていないということが間々あるだろう。研究書や特殊な資料といったものは公共図書館には入っていないことが多いし、自分で買おうにも、ああいった本は一学生が簡単に買えるような値段ではなかったりする。だいたい、どうしても必要だという本に限って、図書館にないという場合が多いような気がする。こういう時大学図書館は、購入希望をカウンター

に提出すれば、購入してもらえる場合が多々あるのである。少し時間がかかるものの、希望が通り、利用可能になると希望を出した本人に連絡をしてくれるのも嬉しいサービスである。私が欲しい本は、他の誰かも必要としている本なのであるから、遠慮することはない。本の蔵書が甘いなどと文句ばかり言っているのではなく、積極的に意見を述べてみるのも、図書館を利用する上では大切なことだろう。

また、大学図書館では、自分の研究に関する論文を集める、というの、大きな目的の一つであろう。個人的には、私が図書館に行くのは、論文集めのためというのがほとんどである。論文といえば、大学紀要や研究会誌などという、専門雑誌に掲載されている場合が多い。ちなみに、私がよく利用するのは、白山図書館の地下二階にある逐次刊行物の書架コーナーである。端から端までずらーっと雑誌が並んでいて、始めて見たときは唖然としたものだ。しかし、世の中に紹介されている論文というのは想像以上に多くて、図書館にある雑誌だけでは到底全てを網羅するというわけにはいかないのである。私の専門分野だけでも、十本論文を探すと二・三本は見あたらないのが普通だ。こういう時、ああしょうがないな、とあきらめてしまっはいけない。欲しい論文が掲載され

ている雑誌名と号数さえ分かっているならば、コピーを取り寄せてもらえるのである。該当雑誌がいったいどの大学図書館や資料館にあるか、ということは自分で調べる必要はない。雑誌名さえはっきりと分かっているならば、あとは図書館が調べて手配してくれる。こちらはただ、所定用紙に記入し提出さえすれば、二・三週間後には手にはいるのである。これももちろん、用意が出来次第連絡がくるから、のんびり待っていればいいだけである。郵送料がかかるから、図書館でコピーをとるよりはちょっと割高だが、今すぐに必要だということではなければ、便利なサービスである。労力と交通費とを使って他図書館や資料館へ行くよりは、複写サービスを待った方がいい、という方は利用してみる価値はあるだろう。

図書館内では静かにする、というのがルールである。これは守らなくてはならない。しかし、時には数人で話し合いをしなくてはいけない場合もあるだろう。そんな時便利なのがグループ学習室である。白山図書館の地下一階に三室あり、その名の通り、グループで学習出来るようになっている。つまり、話し合いをしても良い場所なのである。研究会などに利用するにも最適な場所である。利用するにはカウンターにあるパソコンで手軽に

予約することができる。ここを知っておくと、いざというときに結構便利なものである。

大学図書館は勉強するための場所である。しかし、それは強制されることでもいやいやすることでもない。自分が興味のあること、疑問に思うこと、調べてみたいことを追求するという、ただそれだけのことだと思う。大学生でも、図書館を殆ど利用せずに四年間終わってしまう人も少なからずいるかも知れない。しかし、大学生になったんだから、図書館を利用しなければ損だと思う。雑誌コーナーだけで帰るのではなく、たまにはちょっと書架の中に立ち寄ってみると、意外な発見があるかもしれない。そんなとき、図書館の便利な利用方法を知っていたら、ちょっと図書館を好きになるかもしれない。

PROFILE.....



能登 好美 (の と よ し み)
文学研究科大学院生

昭和50年6月6日富山生まれ。(ふたご座・B型)平成10年都留文科大学文学部卒業後、東洋大学大学院文学研究科国文学専攻入学。現在、本学大学院博士後期過程にて平安文学(和歌文学)を研究中。

白山にあった観光産業関係の資料を
板倉分館へ移管しました。

短期大学で開講されていた観光学科が本年度より、板倉キャンパスで新たに国際観光学科として開講されることになりました。これに伴い、一連の観光産業関連の資料を板倉分館に移管いたしました。これまで白山図書館で利用していた方には申し訳ありませんが、白山キャンパスの方も予約(学内相互貸借)申込みで利用をしてください。少しずつ関連の資料も充実させていく予定です。

白山図書館の資料を
板倉分館に
別置いたしました。

白山図書館の図書を一部(約3万冊)を板倉分館に別置いたしました。OPACでの表示は「板倉保存書庫」となっております。予約(学内相互貸借)申込みで利用してください。

山手線沿線私立大学図書館
コンソーシアムからの
お知らせ

2000年8月より協定館8大学(青山学院・学習院・國學院・東洋・法政・明治・明治学院・立教)による図書館の入館制限緩和が開始されていますが、今年は一歩前進させて資料の有効活用を目指し、個人への貸出しができるよう検討中です。

前近代日本史研究(文献)のための参考書

中島 敬

日本史研究に際し必要な知識とはどのようなものであろうか。東京大学史料編纂所によって1933年に編纂刊行された『読史備要』という本には、編年体の史料集である『大日本史料』と古文書集である『大日本古文書』の編纂に際し随時作成されてきた各種の目録・索引類が、おおよそ3類40部門に分けて収められている。そこに掲げられた諸項目は、『新訂増補国史大系』(吉川弘文館)国史大系の編者として知られる黒板勝美の『国史の研究』に見える歴史研究の「補助学」についての記述とともに、近代日本史学成立期の、日本史研究に必要な知識に対する考え方を反映したものと考えられる。こうした参考書の編纂は、以後も何度か試みられ、1980年代に刊行された『日本史総覧』(新人物往来社)は、それらの集大成を目指したものである。史料用語・地名・人名・研究動向を調べるための参考書類については、これらとは別に日本史辞典・地名辞典・人名辞典・文献目録などが数多く出版され、上記諸書とともに日本史研究に多くの便宜を与えてきた。以下では、これらの参考書類のなかから、前近代日本についての文献史学に関わるものを中心に、その主なものを紹介する。

日本史辞典としては、『国史大辞典』(吉川弘文館)と『日本史大事典』(平凡社)がまずあげられる。このほか『日本歴史大事典』が小学館から現在刊行中である。国語辞典としては、最近第二版の刊行のはじまった『日本国語大辞典』(小学館)が、古文書・古記録用語をも多く拾っている。漢語については、諸橋轍次著『大漢和辞典』(大修館書店)と1980年代に中国で刊行された『漢語大詞典』(漢語大詞典出版社)が双璧。諸制度に関わる語句については、上記辞典類のほか『古事類苑』(吉川弘文館)がある。

地名を調べる際には、『角川日本地名大辞典』(角川書店、完結)と『日本歴史地名大系』(平凡

社、刊行中)が便利。調べた地名を地図に落とす際には、国土地理院発行の二万五千分の一地形図などを利用する。

人物について調べる際には、古代については『日本古代人名辞典』(吉川弘文館)が基本文献。中世の公家・武家の系譜としては『尊卑分脈』(『新訂増補国史大系』所収)が比較的信頼できるものとされる。近世の系譜史料としては、大名旗本諸士についての家譜をまとめた『寛政重修諸家譜』、徳川氏本支流の家譜を集めた『徳川諸家系譜』、幕府に奉仕する諸士のうち廃絶した家の家譜を集めた『断家譜』などが著名。このほか『群書類従』系譜部(以上続群書類従完成会)、『系図纂要』(名著出版)にも多くの系図が収められている。ただし、これらの系譜類は、いずれも後世の編纂物であり、利用に際しては、個別に検討が必要である。『公卿補任』(『新訂増補国史大系』所収)は、公卿の人事について調べる際、まず参照すべきもの。

研究動向や先行研究を調べるには、毎年その前年の歴史学会の動向についてまとめている『史学雑誌 回顧と展望』(『史学雑誌』各編の第5号。史学会編『日本歴史学会の回顧と展望』は、その第95編までの分をまとめたもの)や、『史学雑誌』に掲載されている史学文献目録などがある。このほか『日本歴史大系』(山川出版社)、『岩波講座日本通史』(岩波書店)、『集英社版日本の歴史』(集英社)などの通史類も、各時代別の研究史や研究動向を知る手がかりを与えてくれる。地方史については、都道府市区町村の編纂した自治体史、『日本歴史』に不定期に連載されている「地方史研究の現状」、『月刊歴史手帖』の「地方史雑誌文献目録」を継承した『地方史情報』(岩田書院)などによって、その研究の現状を知ることができる。なお、図書ではないが、日本史関係の情報検索に有用なものとして、図書館でも検索できる国会図書館の蔵書目録データベース(J-BISC)や「雑誌記

事索引」データベースがある。

以上に掲げたものは日本史研究のための参考書のごく一部にすぎず、それら全てを網羅紹介した書物は存在しない。そうしたなか、『集英社版日本の歴史 別巻 日本史研究事典』（1993年、集英社）は、これらの参考書を比較的多数紹介していて便利である。

PROFILE



中島 敬（なかじまたかし）
文学部非常勤講師

昭和39年水戸市生まれ。
東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了。
専門は日本中世史・対外関係史。

板倉

板倉分館

板倉図書館は、板倉キャンパス開設とともに、平成9年4月に開館しました。この4月で5年目を迎える当館は、分館化が決定し、名称を板倉分館に変更し、新たな志で新年度をスタートしました。キャンパスとしても、国際地域学部・生命科学部の2学部の大学院と国際観光学科の設置により、学生数も増え、ますます活気に満ちてくると思われます。図書館でも、観光学関係の図書や雑誌、ビデオなどを数多く入荷し、また、その他の資料も、開設当初と比べものにならないほど書架を埋め、ますます充実した図書館になっております。板倉分館の特徴としていち早く上がるのが、100%開架方式です。これは、所蔵されているすべての資料がすぐにとり出して閲覧できるというわけです。利用者の方にとっては、非常に使いやすいように資料が並んでいるのです。

ところで、皆さんにとって図書館とはどのような場所なのでしょう。学習の場所、興味を探索する場所、

休講の時間を過ごす場所、友人との待ち合わせ場所、二階の窓からの大自然のパノラマを眺めながら憩いのひとときを過ごす空間……。いろいろな過ごし方があると思いますが、図書館本来の姿は、やはり情報提供の場だと思います。現在は情報化の時代です。その莫大な情報が、図書館に埋もれていることをご存知でしょうか。

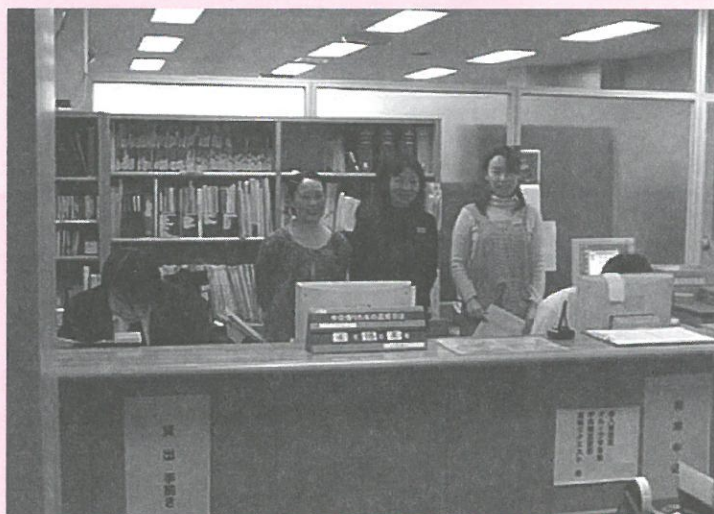
新聞や雑誌はもちろんのこと、オンラインのデータベースからは、常に更新された新しい情報が得られますし、書籍からは、例えば、文学や歴史の奥深さを教えられます。その他、視聴覚資料のDVDやLDでは、話題作となった映画を無料で鑑賞することができます。

図書館は情報のオアシスであり、私たちに幅広い知識を与えてくれる宝庫です。ぜひ、足を運んで、新たな発見をしてください。



ブラウジングコーナー

朝霞



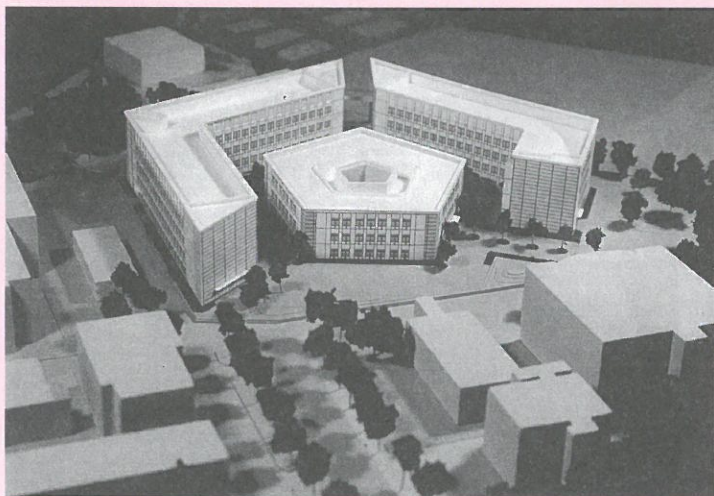
朝霞分館

朝霞キャンパスの図書館です。朝霞キャンパスに来た新入生の皆さんは、まずこの朝霞分館を大いに活用して勉学に励むこととなるでしょう。学習用図書はもちろん、AV資料も充実しています。（ホールではAV資料の映写会もあります。）春の図書館ツアーやガイダンスに参加して、図書館の達人になりましょう。

工学部

工学部分館

工学部では来春、新図書館が誕生します。新図書館では、座席数が大幅にアップし400席以上になります。ゼミ単位やサークル単位などで学習できる、グループ学習室も新たに設置します。20人以上が利用できる視聴覚コーナーを設置します。



新図書館建物概要

| | |
|------|-----------------------------|
| 建築面積 | 5,873.29m ² |
| 延べ面積 | 5,358.85m ² |
| 主要構造 | 鉄筋コンクリート造 プレストレストコンクリート造 |
| 規模 | 地上3階 |
| 最高高さ | 14.800m |

図書館における複製

—私的使用のための複製—

著作権法は、著作者に著作権（複製権等）を認めているので、著作物を利用しようとする者が他人の著作物を許諾なしに利用することは著作権を侵害することになります。しかし、私的使用のための複製の場合には、他人の著作物を自由に利用することが認められているので、著作権法30条について解説します。

1. 著作物は、個人的に又は家族内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする場合には、原則として、その使用する者が自由に複製することができます（著作権法30条1項）。著作隣接権の目的となっている実演、レコード、放送又は有線放送の利用についても同じ取扱とされています（著作権法102条）。ラジオ又はテレビで放送される音楽又は映画を家庭で録音又は録画をしても著作権を侵害することにはなりません。

2. 著作権者の許諾を得ることなく、自由に無償で複製することができるのは、「個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用する」場合であります。ここで「その他これに準ずる限られた範囲内」とは、少数の友人間等のように強い個人的結合関係のあることが必要であり、大学のサークルの場合には4～5人、多くても10人程度までと解されています。

3. 図書館における複製の場合には、その目的、分量等に制限がありますが、私的使用のための複製の場合には、未公表の著作物でも、また調査研究のためのみでなく、娯楽のためでもよく、さらに著作物の全部を複製することも許されています。複製を行うことができる者は、複製物を私的に利用しようとするもの自身に限られますが、補助的立場にある者が代わって複製することは許されます。

4. 複製技術が急速に開発され、貸しレコード店の店頭に高速ダビング機を設置する業者が現れ、顧客が私的使用の名のもとに大量の

複製をするようになって、著作権者の利益が著しく害されるようになりました。そこで、私的使用の複製の場合であっても、公衆の使用に供することを目的として設置されている自動複製機器を用いて複製する場合には著作権者の許諾が必要とされました（著作権法30条1項1号）。ただし、自動複製機器のうち、文書又は図画の複製に供する文献複写機器を用いた複製は当分の間認められている（著作権法附則5条の2）ので、コピー店、コンビニエンス・ストア等に設置されている文献複写機器を用いての複写には著作権者の許諾は必要ありません。

5. 技術的保護手段を回避して可能となった複製を、その事実を知りながら行う場合は、著作権者の許諾が必要です（著作権法30条1項2号）。

6. 政令で定められたデジタル方式の録音機器（DAT・DCC・MD・CD-R・CD-RW）・録画機器（DVCR・D-VHS）及び記録媒体を用いて録音・録画する場合には、利用者は著作権者に私的録音録画補償金を支払わなければならないものとしています（著作権法30条2項）。

PROFILE



盛岡 一夫（もりおかずお）
法学部教授

昭和14年鹿児島生まれ。東洋大学大学院博士課程を経て、昭和58年4月より現職。専門は知的財産法・商法。趣味は、TVでのスポーツ観戦。特に野球と相撲。

お知らせ

図書館ニュース「コスモス」はホームページでご覧いただけます。
<http://www.toyo.ac.jp/libra/>

白山

●開館時間

月～金曜日 9:00～21:30
 土曜日 9:00～20:00

ただし、4月2日(月)は10:00～17:00まで

4月3～7日は10:00～20:00までの開館となります。

4月6日(金)は入学式のため閉館いたします。

●春季長期貸出の返却日は4月12日(木)です。

●「OPACの使い方を覚えましょう！」

4月9日(月)～14日(土) 適宜、ご相談ください。

●予約制図書館ガイダンス(個人・グループ)

4月16日(月)～4月28日(土) 申込みはカウンターまで

●予約制図書館ガイダンス(教員)

5月7日(月)～5月19日(土) 申込みはカウンターまで

●展示コーナー

4月は東洋大学附属図書館刊行物を展示しています。

朝霞

●開館時間

月～金曜日 9:00～19:00
 土曜日 9:00～16:00

ただし、4月2～5日、9日は17:00まで

4月7日(土)は13:00までの開館となります。

4月6日(金)は入学式のため閉館いたします。

●春季長期貸出の返却日は4月16日(月)です。

●図書館ツアー

4月16日(月)～20日(金)

第一回目 12:30開始
 第二回目 15:00開始

約1時間で館内案内と検索の指導をします。

●予約制図書館ガイダンス

4月7日(土)～5月31日(木)お申込みはカウンターまで

●視聴覚催物

4月23日(月)～27日(木)

5月14日(月)～16日(木)

6月11日(月)～15日(金)

放映タイトルにつきましては「ASAKA CAMPUS LIBRARY INFORMATION」でご確認ください。

●展示コーナー

4月「旅」 5月「留学」 6月「健康」

2階フロアにて上記テーマの関連資料を展示します。

工学部

●開館時間

2号館

月～金曜日 9:00～18:00
 土曜日 9:00～16:00

仮設棟

月～金曜日 9:00～17:00
 土曜日 9:00～13:00

ただし、4月2～5日は2号館、仮設棟とも9:00～17:00まで開館。

●臨時閉館日

4月6日(金) 入学式

5月1日(火)、2日(水) 臨時休業

5月28日(月) 体育祭振替休日

6月6日(火) 学祖祭

●春季長期貸出の返却期限日

4月9日(月)が返却期限です。忘れずに返却してください。

●視聴覚資料の充実

DVD資料が新しく入りました。仮設棟で視聴できます。

●購入希望図書について

本学(工学部分館)に所蔵していない図書について、購入希望の申し込みができます。

※閉館時の返却は、仮設棟のブックポストを利用してください。

※開館時間などの変更については、掲示または図書館ホームページを参照してください。

板倉

●開館時間

月～金曜日 9:00～18:00
 土曜日 9:00～16:00

ただし、4月2日(月)～5日(木)は9:00～17:00、

4月6日(金)は9:00～13:00となりますので、ご注意ください。

※開館時間などの変更については、掲示を参照してください。

●春季長期貸出の返却期限日

1月29日(月)から借りた図書の返却期限日は4月10日(火)です。忘れずに返却してください。

●新入生対象OPAC講習会

新入生を対象にOPAC(利用者用オンライン目録)を使って、資料の検索方法や、予約のつけ方などを説明する講習会を行います。この機会に参加して、操作方法を身につけてください。

●一般図書および雑誌(バックナンバー)の配置変更

白山図書別置の関係上、一般図書と雑誌(バックナンバー)の配置が変更しました。詳しくは、「図書館利用案内」およびOPACの所蔵配架マップでご確認ください。